

学校教育目標 豊かな人間力をもち、未来をひらく子どもの育成  
～やさしく かしく たくましい 西津を愛する子～

○学級の実態

- ・児童数...男子17名 女子13名 合計30名
- ・明るく素直である。
- ・元気よくあいさつや返事ができる。
- ・意欲的に発表する児童がいる一方で、自信をもって発表できない児童もいる。
- ・話を最後まで静かに聞くことが苦手な児童がいる。

○こんな1年生に育てたい

- ・何事にも挑戦できる子。
- ・友だちにやさしく、思いやりをもって接することができる子。
- ・きき方やはなし方のルールを守り、安心してきる環境で意欲的に学習に取り組む子。

学級目標

なにごとにもチャレンジ! やさしく かっこいい 1ねんせい

学級経営の努力点

〈人間性豊かな子〉

- ・場に応じた気持ちのよいあいさつや返事、正しい言葉づかいができるように、継続した働きかけをする。
- ・集団遊びを通して、集団の楽しさや心地よさを感じさせ、仲間意識や思いやりの心を育てる。
- ・話し合い、みんなで取り組む経験を積み、協力することの大切さを感じられるようにする。
- ・係活動などで人の役に立つことを経験させ、自己有用感や自尊感情を育てる。

〈自ら考え、学び合う子〉

- ・きき方・はなし方のルールを繰り返し指導し、落ち着いて考えられる学習態度を育てる。
- ・ドリルタイムを有効に活用し、基礎・基本の定着を図る。
- ・興味・関心を高めるために、授業では、具体物を用いたり、ICTを積極的に活用したりする。
- ・ペア・トリオ・グループ学習を効果的に取り入れながら、学級全体で学びを深めていけるような授業づくりをする。
- ・児童の読書状況を可視化し、年間100冊、学年おすすり本15冊を達成するように働きかける。

〈心身ともに健康な子〉

- ・日々の給食指導を大切にし、自身の食生活について考えさせる。
- ・朝運動に懸命に取り組ませ、体力の向上を図る。
- ・体育的行事(体育大会、持久走大会、なわとび大会など)前には必ず目標をもたせ、他者との比較ではなく、自分の成長や達成感が感じられるような支援をする。

〈ふるさと大好き子〉

- ・生活科などで地域に出かける活動を増やし、学校の周りの自然や町の様子に気づかせる。
- ・シルバーカフェやたぶの木を訪ねるを中心に、地域の人とふれあう機会を多くもち、地域への愛着心をもたせる。
- ・やまなみ保育園との連携を図り、交流する機会をもつ。
- ・なかよしタイムのミニ遠足を通して、西津に親しみをもたせ、よさを感じさせる。

〈その他〉

- ・懇談会、学年だより、連絡帳や電話などにより、家庭との連携を充実させ、相互理解を深める。
- ・保育園・幼稚園とのカリキュラムの接続を重視しながら連携して学習を進める。